

農業セミナー・ステップアップセミナー合同講習会「俵牛づくりに挑戦しよう～これからの牛肉生産について（市場ごとの求められる血統）～」を開催しました

令和3年3月16日、J A湘南平塚営農経済センター会議室にて農業セミナー・ステップアップセミナー合同講習会を（一社）神奈川県畜産会と共催で開催しました。講師には、家畜改良事業団家畜改良アドバイザーの寺島豊明先生をお招きし、酪農家後継者7名、肉牛肥育生産者5名、合計12名の出席がありました。

テーマは、肉牛の血統の変遷と枝肉成績を理解すること、和牛子牛の哺育と肥育技術についてで、最新の知見を交えながら分かりやすく説明していただきました。最近10年間の枝肉成績でも、特にこの5年間の枝肉成績向上は種雄牛の能力向上によるところが大きく、A5率の飛躍的な向上につながっているとのことでした。血統を見極めることが子牛生産にとっても肥育生産にとっても重要ということ、市場性を交えて分かりやすく学ぶことができました。

また、和牛の飼養管理の方法については、出席者から活発な質問があり、よりよい牛を作るための技術向上に関心の高いことが伺われました。

今回は、子牛を生産する酪農家と子牛を購入する肉牛肥育生産者が同じ講習会を受講し、それぞれの意見交換もあったことから、お互いの考え方を理解する有意義な場となりました。とくに酪農家からは「子牛を購入する肉牛肥育生産者が何を求めているかを知ることができて有意義だった」との意見が多く聞かれました。

講習会後のアンケート結果から、内容について、おおむね理解できた、よく理解できたが83%で、半分以上理解できた出席者は100%でした。また、講習会の満足度についてはおおむね満足している、たいへん満足しているが92%を占めました。県内の畜産経営がより発展するために、普及指導課では今後もこうした講習会やフォローアップを引き続き実施してまいります。



コロナ対策下での受講風景



講習会終了後、マスクをした状態での情報交換

備考

本講習会は、新型コロナウイルス感染防止対策として、出席者数に対して密にならない広い会議室を使用し、ゆとりある座席配置とし、隣席との間にアクリル板を設置、出席者のマスク着用、手指消毒の徹底、出席確認時に体温測定と記録、CO2センサーのモニタリング等を実施した上で開催しました。